



事業報告書 令和4年度

特定非営利活動法人ところ

メール: [tokoro.office@gmail.com]

Web サイト: [https://npo-tokoro1001.jimdofree.com/]

〒541-0053

大阪府中央区本町2丁目3
番4号アソルティ本町4F



目次

○代表理事よりご挨拶 P 3

○令和4年度事業報告 P 4～P 8

○財務諸表

活動計算書 P 9・P 10

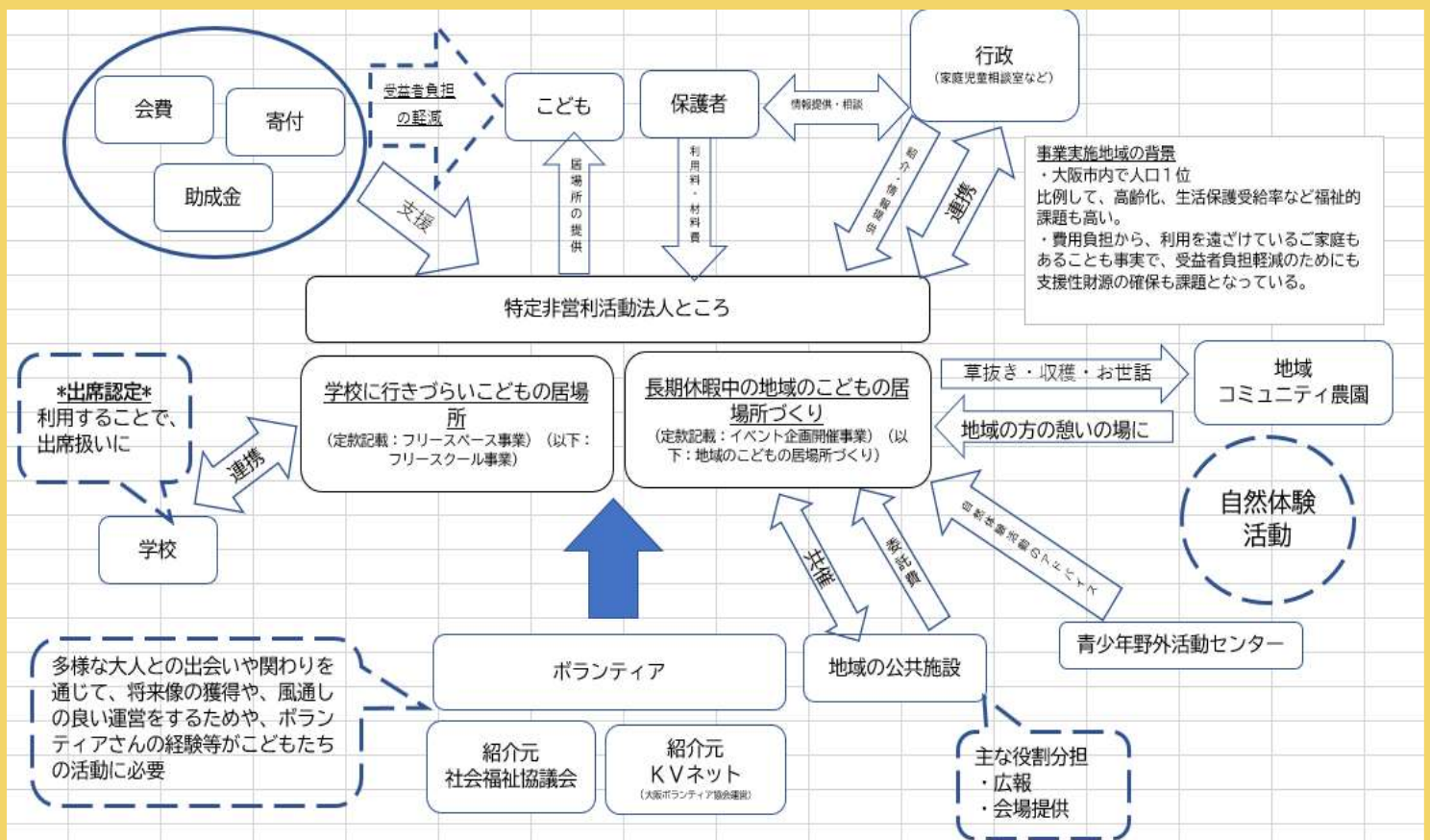
財産目録 P 11

貸借対照表 P 12

○令和5年度活動計画 P 13

○令和5年度活動予算 P 18

【NPO法人ところの俯瞰図】



事業報告にあたって

本年度も無事に、事業報告を行うこととなりました。ここまで大きな混乱もなく事業を行うことができたのは、多くの支援者、スタッフの理解、支援の賜物でございます。

特に今年度は自然活動として課外活動を大々的に行っており、活動の規模が大きいものとなりました。共催事業ではありましたが、法人活動の中でも最大規模の事業となりました。それだけの規模ではあり、当日は荒天となる場面もありましたが、施設運営スタッフの方々、事業運営スタッフ・ボランティアの方々の支援を受け、無事に全行程を終えることができました。

今後も利用者、そして地域にとっても重要な「居場所」となれるよう奮励努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人ところ
代表理事 尾崎 将義

こどもの居場所	
開放的(OOPEN)	閉鎖的(CLOSE)
コミュニティ型 誰でもOK	ケア型 発達障がい、貧困、不登校、虐待 など
すごしの場	ささえる場
制限・限定が少ない	専門性が必要(介入をする) 保健福祉・教育など

令和四年度 事業報告書

特定非営利活動法人ところ

事業期間: 令和3年10月1日～令和4年9月30日

総括: 新型コロナウイルス感染状況と対策について、現場と利用者の双方に混乱が生ずる中でも自然体験活動をフリースペース事業にて初めて実施出来た。
また、イベント企画開催事業でも八尾市生涯学習センターかがやき様と共催にて自然活動を行うことができた。

1. 各部門事業報告

1-1 フリースペース事業

事業名: フリースクールところ

内容: 小学生・中学生を対象にした学校に行きづらい子どもたちの居場所作り(学習サポートや、工作と言ったワークショッププログラムを提供)

場所: たちばな会館(大阪市平野区加美鞍作1丁目2)

実施日時: 毎週火曜日 11:00～15:00

第一、第二、第四、第五木曜日 オンライン開催

対象: 小学1年生～中学3年生までの児童・生徒

行動規制緩和の影響か、利用者は安定して参加されていたように思われる。段階的に増やす予定であった課外活動については、たちばな会館様の空きスペースをお借りしての菜園活動や、移動式フリースクールところ八尾の活動場所でもある「アクトランド YAO」様にて行った自然体験活動、天王寺動物園への遠足をはじめとした課外活動を取り入れることができた。

○陶芸体験○

今期は2/19と3/19に千早赤阪村にて陶芸体験を行った。

参加者: 2/19: 4名 3/19: 6名(家族参加者を除く)

会場: 千早赤阪村立福祉施設いきいきサロンやまゆり

普段より遠方の会場に交通機関を用いて向かい、粘土を使つての創作活動に参加者は皆真剣に取り組みされており、作品が完成させたことに対する達成感を感じている様子だった。

○セレッソ大阪試合観戦○

地域こども支援ネットワークを通じて、セレッソ大阪大阪様よりご招待を頂き、他のフリースクールと一緒に5月6日セレッソ大阪vsジュピロ磐田戦をヨドコウ桜スタジアムで観戦した。スタジアム観戦の機会も初めてで、サッカーのルールもわからなかったが、楽しめたと感想もあった。

○多文化交流企画○

会場: クレオ大阪南

クレオ大阪南様よりボランティアスタッフに海外出身者がいるため、多文化交流の場を提供してもらいたいと依頼があり、3/28に開催。手探りではあったものの、4名の参加者に来場いただき、新しい交流方法、他所とのつながりを得ることができた。



図1 フリースクールとこ菜園活動風景(2022/6/28撮影)

1-2移動式フリースクールとこ
事業名:移動式フリースクールとこ

内容:遠方にお住いの利用者を対象としたフリースクール事業
都島・八尾・岸和田の3拠点で令和4年4月より開始

実施日時:毎月1回

対象:小学1年生から中学3年生及び遠方にお住いの利用者

移動式フリースクールとこ都島

5月19日(木) 参加者3名

身だしなみでここまで変わる!スタッフの劇的ビフォーアフター」と髪の毛のセットの仕方やアレンジ方法などのレクチャーのイベントを実施しました。

→都島区社会福祉協議会より梅田で美容室をされている美容師さんをご紹介頂きました。

1-4障がい児相談支援事業

事業廃止のため、現在活動未実施。

1-5イベント企画開催事業

1. デイキャンプ

事業名:青空あそび!竹の水てっぽうづくりとTシャツアート体験

場所:アクトランド YAO(八尾市立大畑山青少年野外活動センター)

日時:令和4年7月27日(水)10:30~15:30

人数:こども:12名 大人:8名 計20名

目的:豊かな自然環境の中で様々な自然体験活動を経験する。非日常体験に取り組むことで、自己肯定感の獲得など、よりよい日常生活を追うための動機付け

詳細:前年度、共催事業でお世話になった「八尾市生涯活動センターかがやき」様との共催、大阪コミュニティ財団、信金スマイル基金助成事業として開催。

天候の不安定な中の開催、それに伴うプログラムの急遽変更も重なったが、別日に事前の打ち合わせも行った結果、怪我、熱中症、新型コロナウイルス対策を万全にでき、参加者の動きにも臨機応変に対応することができた。



図 2 デイキャンプ活動風景(2022/7/27 撮影)

2.社員総会の開催状況

日時	令和3年11月23日(火) 19:00~19:40
場所	オンライン会議室 zoom
出席数	13名(委任状参加:8名)
内容	事業報告・事業決算承認について 事業計画・事業予算承認について 議事録署名人選任について 議事録署名人について

3.理事会その他役員会の開催状況

3-1.理事会

日時	令和4年2月1日(火) 19:00~20:00
場所	オンライン会議室 ZOOM
理事総数	3名(上中、尾崎、齊藤)
出席理事数	3名(上中、尾崎、齊藤)上中→書面表決にて
内容	衛生備品の在庫配布について(利用者、職員)

	2月19日の陶芸体験について 卒業生の記念品について PDCA サイクルの「P」(プラン)の作成 ホームページ案
--	---

3-2.理事会

日時	令和4年8月16日(火)10:00~13:00
場所	オンライン会議室 zoom
理事総数	3名(上中、尾崎、齊藤)
出席理事数	3名(上中、尾崎、齊藤) 上中→書面表決にて
内容	会計の書式統一化について 事業計画について 事業予算について 大阪コミュニティ財団の助成事業執行状況について 大阪市地域公共人材について 平野区内企業様より会場提供について ボランティアコーディネーター研修受講報告 法人・フリースクール事業の月間スケジュールの役割分担について

4.【フリースクールところ】リーダー会議実施状況 開催日随時(共有事項が発生した際に都度開催)

出席者 施設長・リーダー

- 内容1)ケース共有
2)全体化事項共有
3)事故等安全対策に関する情報共有
4)問合せ状況共有
5)翌月の設定プログラム確認
6)翌々月の設定プログラム作成

活動前後に、グリーンフィングを行い、活動内容や注意点、こどもの状況等、参加スタッフ全員で共有を図りました。

5. その他

○大阪市地域公共人材のアドバイス

依頼経緯:利用者増加を考えるにあたり、広報活動に注力する必要があると理事会で結論が出たが、法人内に第一ツールであるホームページの改修に関する技術・知識、および広報に関するノウハウがなく、独自に学んでホームページ改修・広報を行うには時間・リソースに余裕がないため、大阪市にて専門知識を有した人材の派遣を行う事業を利用することとなった。

開催日時/活動内容

第一回	7/12 15:30~ ZOOMにて	広報 全体像を理解する
-----	-----------------------	-------------

第二回	8/30 12:00～ ZOOMにて	事業の“メッセージ”を整理する。(プレゼン)
第三回	9/13 15:30～ たちばな会館にて	ユーザーを理解(受益者は誰?こども?保護者?社会?)
第四回	11月開催予定	広報 ツール コネクティングと業界研究(他団体事例)
第五回	開催時期未定	ツールの活用

●人材支援を受けて

今回の人材支援を受けて、現在のターゲットが明確になっておらず、ただ情報を散見させているため成果が上がらないという点を洗い出すことができ、よく見ていただいている層に向けて、どの情報をどのように広報していくのか、その指針を第三者の視点からの知見を得ることができた。

令和4年度 決算書類

令和4年度 活動計算書

令和3年10月1日から令和4年9月30日まで

特定非営利活動法人とことろ
(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	14,000	
賛助会員受取会費	0	14,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	133,300	133,300
3. 受取助成金等		
大阪信用金庫ふれあいスマイル基金	92,560	92,560
4. 事業収益		
イベント（青空あそび！）	12,000	
利用料（フリースペース事業）	189,650	
講師謝礼	10,230	
大阪市塾代給付費収益	72,000	283,880
5. その他収益		
受取利息	0	
雑収益	0	0
経常収益計		523,740
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	0	
法定福利費	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	1,654	
人件費計	1,654	
(2) その他経費		
イベント費	45,868	
通信費	73,044	
旅費交通費	4,000	
接待交際費	4,460	
事務用品費	38,966	
消耗品費	51,846	
地代家賃	66,000	
保険料	600	
リース料	133,380	
支払手数料	51,270	
貸借料	122,500	
雑費	7,720	
その他経費計	599,654	
事業費計		601,308
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	
給料手当	0	
法定福利費	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
支払手数料	3,090	
会議費	0	
旅費交通費	0	
減価償却費	0	
支払利息	0	
その他経費計	3,090	
管理費計		3,090
経常費用計		604,398
当期経常増減額		△ 80,658
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		△ 80,658
法人税、住民税及び事業税		
当期正味財産増減額		△ 80,658
前期繰越正味財産額		△ 3,214,920
次期繰越正味財産額		△ 3,295,578

計算書類の注記

1. 重要な会計方針
 計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。
- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
 該当事項なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 該当事項なし
- (3) 引当金の計上基準
 該当事項なし
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
 該当事項なし
- (5) ボランティアによる役務の提供
 該当事項なし
- (6) 消費税等の会計処理
 消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 会計方針の変更
 該当事項なし

3. 事業別損益の状況
 該当事項なし

4. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳
 該当事項なし

5. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳
 該当事項なし

6. 用途等が制約された寄附金等の内訳
 該当事項なし

7. 固定資産の増減内訳
 該当事項なし

8. 借入金が増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	3,027,365	0	0	3,027,365
合計	3,027,365	0	0	3,027,365

9. 役員及びその近親者との取引の内容
 役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
受取寄附金	0	0
委託料	0	0
活動計算書計	0	0
(貸借対照表)		
未払金	274,161	274,161
役員借入金	3,027,365	3,027,365
貸借対照表計	3,301,526	3,301,526

10. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項
 該当事項なし

令和4年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

特定非営利活動法人ところ

令和4年9月30日現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	948		
未収金	5,000		
流動資産合計		5,948	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計 (A)			5,948
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	274,161		
短期借入金	3,027,365		
流動負債合計		3,301,526	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計 (B)			3,301,526
正味財産 (A) - (B)			△ 3,295,578

令和4年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

特定非営利活動法人ところ

令和4年9月30日現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	948		
未収金	5,000		
流動資産合計		5,948	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計 (A)			5,948
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	274,161		
短期借入金	3,027,365		
流動負債合計		3,301,526	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計 (B)			3,301,526
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		△ 3,214,920	
当期正味財産増加額 (減少額)		△ 80,658	
正味財産合計 (C)			△ 3,295,578
負債及び正味財産合計 (B) + (C)			5,948

令和5年度 事業計画書

令和4年度の事業計画の達成状況

項目	内容	達成状況	改善点
研修	不登校、家族支援	概ね達成	地域こども支援ネットワークの研修等を受講
共有	グリーフィングの実施、リーダー会議 グリーフィングは継続する。改めてのリーダー会議の実施はしない。	グリーフィングの実施は達成 リーダー会議の定例が出来ていない	リーダー会議については、グリーフィングやPDCAと共通していることが多い その日にうちに、落とし込んでいる。
連携	学校等	達成	
PD CA	理事会に実装し、こどもの利用状況、支援状況、こどもの新規受入、定期的な事業評価 半年に1回のペースで開催できた。	概ね達成	大阪市地域公共人材を活用し広報のブラッシュアップを図っている(継続)
家族 支援	Pサークル(親会の実施) コロナ禍もあり、難しい。	達成できていない。	リサーチが出来ず
情報 提供	SNSの活用	概ね達成	フリースクールだよりの作成・発送
地域 支援	公共施設と共催で居場所づくり HPやInstagramの更新	概ね達成 活動後にInstagramの更新	クレオ大阪南様や八尾市生涯学習センター様と共催で居場所を実施。フリースクールだよりを子育て支援室等に発送している。
活動	オンラインフォームでリクエスト調査 ICTを活用した学習支援	達成できていない	平野社協のボランティアだよりに、プログラム案の募集を行った。フォーム自体が作れていない。Wi-Fi環境等で難しい
ボラ ンテ ィア	ボランティア人材の開発 ボランティアコーディネーター研修	概ね達成	KVネットを通して申込があった。 コーディネーター研修を、施設長が受講
収支 改善	収支について、寄付や賛助会員を増やす	概ね達成	日本政策金融公庫のソーシャルビジネス相談会に参加し、アドバイスを頂いた。

●設立ヒストリー

特定非営利活動法人ところは、社会福祉、臨床心理を学んでいた大学生が、在学中に立ち上げた法人です。設立代表者が、個別療育教室のボランティア活動に参加したきっかけで、「発達障がい」と言葉を知り、「受給者証サービスにつながらないなど、制度の狭間で困っている子ども」がいることを知りました。その多くの子どもが、学校に行かないとアカンとは分かっているけど、学習について行けない。友だち関係でしんどいなど、学校に行きづらい現状を目の当たりにしました。日本のシステムは「学校」が基準になっていることで、サービスにつながらないなどのエラーも起きていることも知りました。いつか、こんな個別療育教室のような居心地が良い居場所をつくりたい！と思ったところ、ヘルパー研修で知り合った方が自死されたショックな出来事からも、「今やりたいと思うことを後悔なく実現したい」と、在学中という「若さ」の特権をフル活用して、いろんな方に支えて頂きながら、特定非営利活動法人ところの設立が実現しました。

●ミッション

- ・学校に行かないと選択した子どもたちが、自信と誇りに満ち溢れ、自己表現できる子どもを育てる。
- ・不登校＝ネガティブ・マイナスではなく、子どもの「強み」であることへの理解者を増やす。

●ビジョン

- ・子どもが笑える地域へ
- ・家族が安心して、子どもが自信をもって「不登校」を肯定できる地域へ
- ・学校を中心に語れる地域へ

●理事の経歴等

代表理事	尾崎 将義
経歴	関西福祉科学大学 社会福祉学部 臨床心理学科 卒業 専攻:発達心理
取得資格	特になし
勤務経歴	営業(機械系)

副代表理事	齊藤 智文
経歴	関西福祉科学大学 社会福祉学部 社会福祉学科 卒業 専攻:児童福祉(障がい児)
取得資格	介護福祉士 保育士(地域限定) 普通自動車運転免許 普通自動 2 輪運転免許 小型船舶操縦免許 2 級 福祉住環境コーディネーター 2 級 食品衛生責任者 手話検定 7 級 漢字検定 9 級 英語検定 5 級 相談支援専門員(現任研修修了) ヘルパー 2 級
勤務経歴	児童ディサービス 送迎の添乗員など 児童発達支援センター 送迎バスの添乗員や延長保育の補佐など ヘルパー 食事介助や入浴支援、調理・買い物、外出支援など 救護施設 宿直業務 相談支援事業所 ケアマネジメント

副代表理事	上中 太志
経歴	神戸国際大学 経営学部 卒業
取得資格	中学・高校社会科教員免許・ヘルパー 2 級・福祉用具専門相談員・パラマウントベッドバットフィッティング資格・介護福祉士 相談支援専門員(初任者研修・現任研修)強

	度行動障がい(基礎研修・実践研修)・医療的ケアコース受講・計画相談ファシリテーター・人権研修講師
勤務経験	呉服・ジュエリー販売 船来時計売場 上中電機を起業 ヘルパー2級取得後 ヘルパーステーション・福祉用具・地域生活支援センター・グループホーム・就労継続支援 B 型・計画相談事業所にて勤務 現在も、相談支援事業所 ケアマネジメントを行っている。

●サービス内容

サービス内容	フリースクール(学校に行きづらいこどもの居場所づくり)
セールスポイント	<ul style="list-style-type: none"> ●在籍校長が認めれば出席扱いになる。 ●大阪市塾代助成カードが利用できる。 ●経験・可能性・夢が広がる。 ●「療育」もプログラムに取り入れている。 ●「地域」に密着している。 ●少人数なので、きめ細かくサポート！ ●月1回、都島、八尾、岸和田の地域で、移動式フリースクールところとして、活動している。
ターゲット	学校に行きづらいこども、療育など制度サービスにつながらないこども
戦略	<p>利用者の維持</p> <p>利用者の確保</p> <p>売り込むが難しい フリースクールがない社会の方が良いから。 ニーズの発掘をどうするのか?? →行政との連携(紹介・依頼の類) →講演会、Pサークル(親会)、SNS 発信→第一人者でないと…。</p> <p>不登校の専門性がない? 発達特性のこども</p> <p>今の利用者については、居場所になっている。 一時しのぎの場(学校に戻るため、慣らしの場)</p> <p>一時的な練習の場としては、 移動式ところの活用。 「動ける強み」</p> <p>居場所の定着 平野区の方を利用する。</p> <p>広報 Instagram</p> <p>スクールソーシャルワーカー</p>

	相談支援事業所、基幹相談支援センターなど フリースクールだより リターンがあれば、必要経費
競争・市場など 取り巻く状況	・大阪府内50箇所フリースクールがある。 (多種多様) ・活動報告会

フリースクールところスタッフ役割分担等

施設長(代表理事兼務)	1名
<ul style="list-style-type: none"> ・フリースクール事業全般のプログラムの調整 ・学校への出席報告書の承認など、対外文章の最終確認。 ・ボランティアの調整等。 ・貸館施設との調整を行う。 ・その日の活動の総理を行う 	
リーダー(副代表理事兼務)	1名
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との出席や活動報告などのやり取り ・学校・福祉サービスのケース会議等の出席 ・学校への出席報告書の作成 ・その他 施設長を補佐する。 	
ボランティア	数名
<ul style="list-style-type: none"> ・こどものあそび相手など 	

必要な資金と調達方法

事業費	フリースクール事業 貸館使用料 消耗品費、通信運搬費等	利用料 寄付 助成金
管理費	法人事務所の賃料 等	会費

複合機のリース終了に伴い、コピーカウンター料金も減るため、1万5千円ほどの経費削減が見込めます。

社会福祉協議会等のNPO・市民活動団体のコピー機貸出等を利用し、印刷代の削減を図ります。また、法人内文章等ペーパーレス化を図り削減も目指します。

「事業性」と「支援性」のバランスを図りながら、

○事業性→広報媒体の見直しで新規利用者の確保、

○支援性→ところのファンを増やす(寄付や会員増)取り組みを考え、助成金も積極的に申請を図ります。

今年度の運営方針

法人

1 情報共有等オンライン化

事業を企画する際や、他団体との打ち合わせ、寄付の受取など、情報共有を図るため、決裁書の作成を行っている。理事間のみ Google フォームを利用したオンライン化を図る。

また、複合機のリース終了に伴い、ペーパーレス化も実施する。

2 予算

立て替え対応すればと、予算の把握も難しかった現状があるので、月の予算を設定し、共有する。経費削減を図る。

3 PDCA会議

理事会に実装したPDCA会議で、アクションを図っていることを継続したい。

4 次年度10周年に向けて、「ところ」のファンを増やす取り組み

昨年度より、大阪市地域公共人材のサポートを受けて、「広報」についてブラッシュアップを図っている。10周年に向けてモバイル等で見やすい、わかりやすい、アクセスしやすい、ホームページのリニューアルを行う。

フリースクール事業

●全体⇒①「こどもファースト」②「地域(コミュニティ)」をキーワードに、こどもに寄り添った支援に取り組む。

昨年度は、移動式フリースクールところ八尾でお借りしているアクトランドYAOでの課外活動など、地域を超えて、それぞれ場所の長所等を活用した支援が図れた。地域に協力頂いて、畑活動に取り組めた(ジャガイモをきっかけに虫の観察、ジャガイモの成長を見届けるなど欠席率も減った効果もあった。また、他の貸館利用団体の方が気にかけて下さり自然とコミュニケーションが図れた)

自立支援型フリースクールところ

名称;自立支援型フリースクールところ	大阪市平野区 たちばな会館・オンライン
活動日時:毎週火曜日 11:00~15:00 毎週木曜日(第3除く)11:00~15:00	
予算:1時間 500円×4時間 2000円/回 月5回 1万円 ●年間(11か月):11万円 ⇒夏季休暇中の8月は利用しない。	

移動式フリースクールところ

各居場所統一して、3000円/回としている。

月1回だけになるので、1人の利用があればトントンではある。

法人の管理費までは捻出できない。

名称;移動式フリースクールところ都島	大阪市都島区 市営友洲住宅集会所
活動日時:第3木曜日 13:00~16:00	

予算:1時間600円×3時間 1800 円/月 ●年間(11回):19800 円

名称;移動式フリースクールところ八尾	八尾市 アクトランドYAO 和室
活動日時:第 2 土曜日 13:00~16:00	
予算:1時間 330 円×5時間(準備片付け2時間含む) =1650 円 ●年間(11回):18150 円	

名称;移動式フリースクールところ岸和田 with ここから kit	岸和田市(NPO 法人ここから kit 共催) ころころはうす内にて
活動日時:第 4 土曜日 11:00~15:00	
予算:1か月 2500 円 (定額) ●年間(11回):27500 円	

移動式フリースクールところ都島・八尾・岸和田は、令和4年12月までとし、今後は様子見とする。

木曜日のオンラインコースに集約し、リアル開催の要望があった際に貸館との調整を行い実施とする。

岸和田については、こども食堂の活動に協力することとする。(プログラム面など)

地域の居場所づくり活動

公共施設からのご依頼で実施なので、不透明。
 助成金を受けての自然体験活動(ディキャンプ等)の実施も検討する。

その他

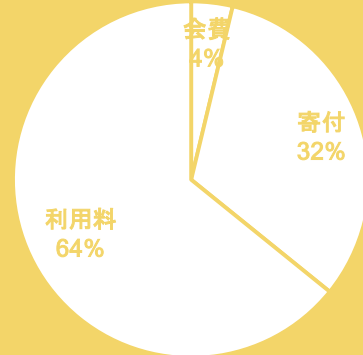
尾崎・齊藤⇒マネージメント業務と、プレイヤー業務を兼務しないとなりたくない。
効率化できるところは効率化を行う。

令和5年度 事業予算

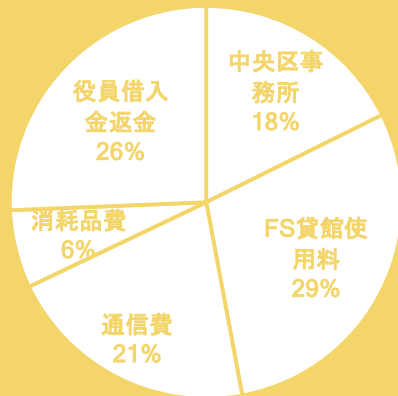
収入	
会費	¥14,000
寄付	¥120,000
利用料	¥240,000
合計	¥374,000

支出	
中央区事務所	¥66,000
FS 貸館使用料	¥110,000
通信費	¥78,088
消耗品費	¥24,000
役員借入金返金	¥95,912
合計	¥374,000

収入 合計¥374,000-



支出 合計¥374,000-



○収入改善【目標】

「事業性」と「支援性」のバランスを図りながら、

○事業性→広報媒体の見直しで新規利用者の確保、

○支援性→ところのファンを増やす(寄付や会員増)取り組みを考え、助成金も積極的に申請を図ります。

グラフ化してみると、、、会費や寄付などの支援性の財源が36%となっているので、+4%(合計40%)にするきっかけづくりを今年度は取り組みたいと思っています。

+4%の具体策については、PDCA 会議や、大阪市地域公共人材の仕組みを活用し、改善を図ります。

○支出改善【目標】

→複合機のリース契約終了に伴い、月1万円+aの支出が削減。年間12万+aとなる。効果は大きい。

→コンビニや、NPO・市民活動支援でのコピー機貸出を利用することとなる。

ペーパーレス化などで、業務効率化も図ります。

○新たな取り組みについて(自然体験活動等)は、助成金申請、取得後実施します。

○毎月の予算を共有し、執行状況の確認を行います。